

議 会 情 報 便

なかよし村



No.216



発行日
令和元年11月30日
発 行
川崎町議会

編集 議会広報・広報委員会



「なかよく! たのしく! おいしく!」

23P

かわさき想い人
移住しておもうこと

10P

町政を問う
8人登壇14問

8P

要望決議
安全安心なまちづくりを

2P

決算審査特別委員会
財政・事業成果検証



9月会議

平成30年度決算

審査特別委員会

検証

9月会議は9月30日から10月9日までの会期で開きました。
平成30年度一般会計・特別会計・企業会計の8会計について決算審査特別委員会を設置し、集中審議の結果、すべての会計を原案どおり認定しました。

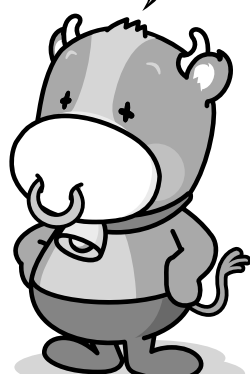


財政状況

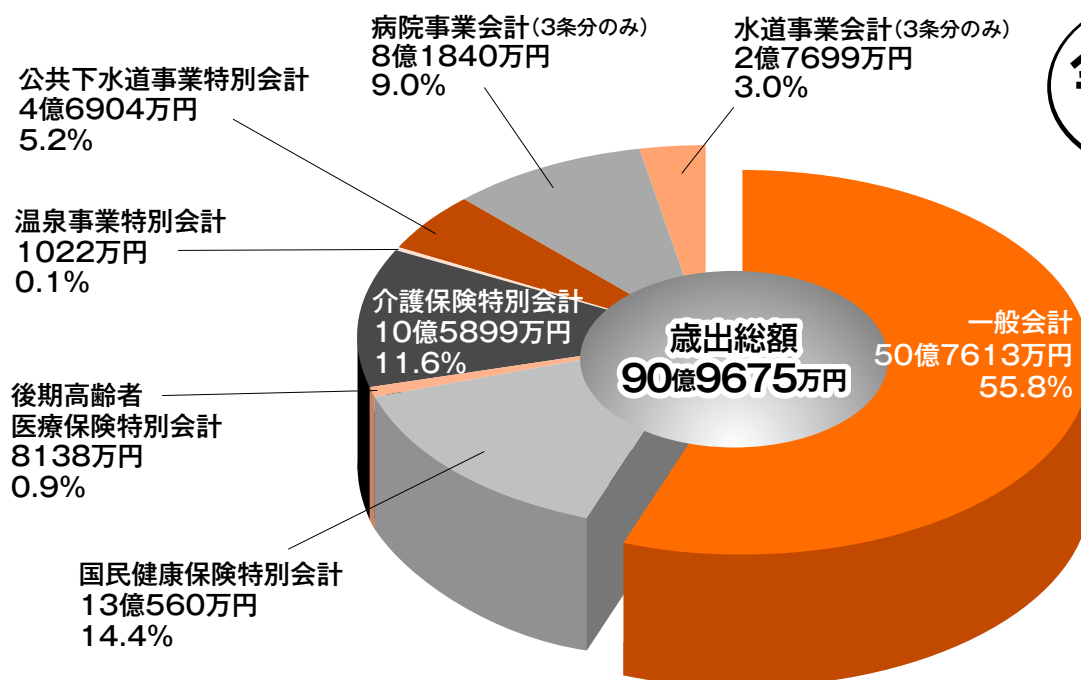
各事業成果



全会計の総額と割合だよ!!



川崎べこ太郎



全会計 90億9675万円

前年比 4.9億円 5.7%増

決算審査特別委員会とは

「決算」が議会に提出される定例会の9月会議で、その認定審査のために設置される委員会です。議長と議会議長選出監査委員を除く11人（1人欠員）で構成されています。

審査期間スケジュール

10月 1日 特別委員会構成（正副委員長の選任）

互選結果

委員長 石野 博之 副委員長 神崎 安弘

10月 2・3日 担当課等の説明、委員質疑

10月 4日 総括質疑・採決・意見等のまとめ

決算のポイント

- 一般会計は国保会計へ財政調整基金積立金を繰り出し、小中学校などの長寿命化計画の策定、復興事業の増加に伴い物件費が大きく増加。
- 地方交付税の減少や国保会計へ繰出金の増加、シルバー人材センター設立事業による取り崩しで基金残高は減少。
- 小中学校空調設備整備工事やスキー場の人工ゲレンデ整備工事の完了などで地方債残高が増加。
- 特別会計では、国保会計が県単位化に伴い決算規模が拡大、介護保険特別会計では施設介護サービス給付費の増加、公共下水道事業特別会計では長寿命化計画に基づいた施設整備費の増加で、それぞれ事業規模が拡大。

決算審査

全85問

今後どうする？

督促手数料の詳細は

1144件です

神崎委員

問 水道使用料の督促手数料は昨年より減額となっています。手数料および件数の詳細は。

建設水道課

答 納付期限より1カ月過ぎると100円発生します。件数は年間累計で1144件になりました。

なり手不足に懸念

方向性を検討中

高橋委員

問 交通安全指導員の報酬は年額と出勤の2種類ありますが、今後年額報酬がなくなると聞いています。それでは職務に対する認識が薄れ、なり手不足が懸念されます。安定した組織を維持するために人員確保が大切では。

総務課

答 12月会議で会計年度任用職員制度※に切り替えたいと考えています。指導隊や行政区長などの非常勤は各市町村で扱いが異なります。国の方針では、なり手不足の懸念もあり現在方向性を検討中です。

▼交通安全指導員に見守られて



組織の対応策は

更新をスムーズに

神崎委員

問 消防団は定年年齢を引き上げました。防犯・交通安全指導隊などでも高齢化が進んでいます。定年に関する対応策は。

総務課

答 各指導隊は若い人も多く、問題なく事業が行われています。長い目で見て、更新をスムーズにしたいと思っています。

看板の効果は

小型な鳥居も

沼田委員

問 ごみの不法投棄を防ぐための啓発看板を立てていますが、効果のない場所があります。看板以外の対策が必要だと思えます。効果的な対策やカメラの設置は考えていますか。

町民生活課

答 不法投棄された場所には小型の鳥居を立てています。状況が改善されない場合は、防犯カメラやセンサー感知で点灯するライトを整備したいと考えています。

交付の状況は

新たな機能も検討

眞幡委員

問 マイナンバー制度が始まってから2年経過しました。これまでのカード交付状況と今後の見通しは。

町民生活課

答 今年7月末での交付数は678枚。県全体で30万枚交付されています。国では保険証の機能を備えることを検討しています。

▼問い合わせは窓口へ



▼不法投棄は許さない



課題解消は？

決算審査では各事業の成果・実績などを確認するため、執行部からの詳細説明を受けました。それを受け、各委員から85件の質疑・提言が出されました。ここでは、その一部を紹介します。

防犯カメラの設置を

眞幡委員

問 子どもたちの安全のために、通学路や公園などへ防犯カメラの設置が必要だと思えます。

総務課

答 町民のプライバシー保護の観点から、街路に向けて設置する場合は条例等の制定が必要となります。町全体として設置箇所やデータを回収する方法など、さまざまな要素を勘案し検討します。



▲子どもたちを守るため

基金管理の考えは

沼田委員

問 基金は平成28年度をピークに毎年取り崩しが行われています。要因は公営住宅建設やシルバー人材センターの設立ですが、今後の考えは。

総務課

答 平成28年度の公営住宅建設が大きい部分もありますが、普通交付税の減少に伴い財政調整基金が減少している現状です。今後も事業精査や税回収の強化を図りながら、健全な財政運営を行っていきます。

どう使った？

外科診療の要望は

眞幡委員

問 以前から外科診療も実施してほしいと要望していますが、今後の予定は。

病院

答 外科診療については、引き続き検討させていただきたいと思っています。

児童の安全確保を

沼田委員

問 徒歩で登下校している児童の安全を確保する必要があると思います。スクールバス路線内で座席に余裕があれば規則を変更し、乗車させる考えは。

学務課

答 前回の統廃合で閉校した学区の児童が利用しています。他の児童を乗せる場合には規則の変更が必要になります。変更し対象者に希望を取れば、定員オーバーする可能性もあります。

企業はなぜこない

高橋委員

問 町ではこれまで企業誘致に力を入れてきました。しかし、効果が見えません。企業が進出しない理由はどこにあると考えますか。

地域振興課

答 交通事情や雇用者の確保、土地の問題などさまざまな要素が複雑に絡み合っています。15歳以上の生産年齢人口が少ないことも一つの要因です。



観光資源の整備に力を

沼田委員

問 本砂金の「オボコンベ山」も登山客が増えています。これまでは地元の方が案内看板などを設置してきまして。町で整備すべきでは。

来年度以降に

地域振興課

答 実際にオボコンベ山を踏査して実感しています。来年度以降に検討したいと思っています。

どう進めますか

遠藤委員

問 外国人観光客を招致するため、仙台空港からバス運行するなどの事業を行っています。今後の見通しは。

DMOとの連携継続

地域振興課

答 東北観光復興対策交付金を活用し、蔵王を中心に宮城インバウンドDMOとの連携も続けていきます。

受診率向上策は

眞幡委員

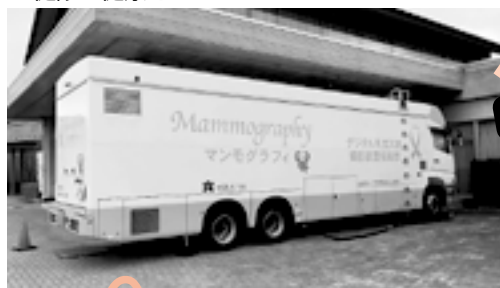
問 将来的に社会保障関連費が増加するなか、町民の健康を守るため健診受診率を上げることが大切です。受診率60%を目指す方策は。

周知方法など工夫

保健福祉課

答 集団健診だけでなく個別健診の拡充、土・日曜日の健診、早朝受付などを実施してきました。引き続き環境づくり、周知方法の工夫など検討しながら取り組んでいきます。

▼健診で健康を



▼地元手作り看板が……



否か!?

健康で働く喜びを

眞幡委員

問 シルバー人材センターは、働く喜びを味わっている声が聞かれます。また、一方では自分に見合った仕事がなく困っている人もいます。

便利さを拡充

保健福祉課

答 会員は100人を超えています。需要と供給もあります。次年度から派遣業も可能となり、さらに便利さが拡充されていくと考えます。

定期的に受講を

神崎委員

問 こども園職員を対象としたAEDの講習会は定期的に行っていますか。

計画的に参加

こども園

答 年2回教育委員会主催の講習会に交代で参加しています。また、受講していない職員は仙南広域の講習会に参加させています。

防犯対策は大丈夫

佐藤(達)委員

問 施設(こども園)の施錠のあり方、防犯カメラの設置はどのようになっていますか。

安全面から再検討

幼児教育課

答 以前にカメラ設置の検討をしましたが、これまで事件や事故が起きていないことや、費用がかかることを理由に設置に至っていません。再度検討します。

▲施設の安全を



▲AEDの受講拡大を



適か!?

委託先の考えは

生駒委員

問 児童教室はなぜ社会福祉協議会に委託しているのですか。他の業者に変更するつもりはないのですか。

限られた業者になる

幼児教育課

答 当初の経緯はわかりませんが、社協の職員は資格もあり人材も揃い、柔軟な対応ができています。職員数や人材育成といった面から考えると、限られた業者になると思います。

▼放課後の充実を(基石児童教室)



新規就農者支援は

高橋委員

問 新規就農される場合、国から年額150万円が補助されます。独立経営するために町独自の支援策は。

設備投資に補助

農林課

答 町の支援策として経営の不安定な初期段階に要する機械・設備等の購入経費に対し、対象経費の2分の1以内、最大150万円を補助しています。

▼新たな特産品に



▲整備で農地活用



▲対策で被害を減らせ

耕作放棄地の対応を

神崎委員

問 ほ場整備をしないところは耕作放棄地がところどころで見受けられます。今後の対応は。

成功事例を参考に

農林課

答 龍雲寺付近などは地権者が多く、集約が厳しい状況です。古閑地区や小沢地区を参考事例に、ほ場整備ができないか検討していきたいと思っています。

県への要望は

大沼委員

問 有害鳥獣被害対策に関して、県へのような要望をしていますか。

3本柱の補助を

農林課

答 有害鳥獣被害対策の基本である、防除、捕獲、環境整備の3本柱の補助を仙南2市7町で要望しています。

決算を認定も



次年度予算とまちづくりのため

地方交付税減少傾向！



着実な財源確保を

基金の繰入金には必要
な事業にのみ活用し、
かつ、積立金を奨励す
ること、着実な財源
確保と計画的な負担軽
減対策を講じている状
況です。引き続き実施

即時対応できる
財政力を

れます。

歳入において、町税
が町民税の課税対象所
得の減少により、前年
度比462万7000
円(0.5%)減額と
なったものの、徴収率
は95.9%(1.8%増)
と向上しています。こ
れは、長年にわたり収
納率向上に取り組み
てきた成果だと考えら
れます。

徴収率向上も

監査意見

病院事業会計に関し
ては、安定した病院経
営を持続可能なものと
していくため、長期的
な経営収支の評価に基
づいた経営判断のもと、
今後も利用者から信頼
される病院として、適
切な医療サービスの提
供を図ってください。

持続可能な
経営計画を

収入未済額は年々改
善されているものの、
今なお一般会計で49
12万6000円、特
別会計で9385万3
000円となっていま
す。引き続き徴収対策
の強化による自主財源
確保に努力してくださ
い。

財源確保に努力を

され、重要施策及び災
害等、緊急かつ突発的
な事業に即時対応でき
る財政力を備えてくだ
さい。

財政指標の状況

	H 28	H 29	H 30	健全状況	指標の説明
経常収支比率	91.9%	93.1%	94.0%	悪化	財政構造の弾力性を表す指標で、この比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直化が進んでいることを示します。
連結実質赤字比率	赤字が発生していない			健全	標準的な収入に対する全会計の赤字の割合です。
実質公債費比率	3.2%	3.8%	4.0%	健全	標準的な収入に対する、1年間で支払った借入金返済額などの割合です。
将来負担比率	数値が算定されない			健全	標準的な収入に対する将来支払う借入金返済額などの割合です。
積立金現在高比率	69.6%	67.2%	61.8%	悪化	現時点及び将来にわたっての財源的な蓄えを表す指標です。
地方債現在高比率	53.3%	56.6%	66.6%	健全	将来、償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合を示します。
財政力指数	0.315	0.319	0.327	低い傾向	財政運営の自主性の大きさを表す指標で、1に近いほど財政力が良いことを表しています。

H30年度決算

要 望 決 議

議会からの

1

当町には、まだ多くの人に知られていない魅力ある自然資源があります。新たな観光資源の掘り起こしにつながるよう、これらの環境を整備してください。

2

国民健康保険加入者の特定健診や主要がん検診の受診率は、県内で上位に位置しています。これまでの施策を継続し、さらなる受診率向上に努めてください。

3

交通安全指導員や防犯指導隊員等の高齢化が進んでいるので、人材確保策など、持続可能な体制づくりを構築してください。

4

農業従事者の高齢化や担い手不足などにより、農地の耕作放棄地が増えている状況です。担い手の確保や組織の新設、田・畑の集積など、検討を望みます。

5

安全で安心なまちづくりの観点から、子どもたちをはじめとする町民が事件や事故に遭わないよう、公共施設に事件等の抑止力となる施策を講じてください。

6

病院事業は、地域医療連携業務により町民のみならず近隣市町からの患者も受け入れるなど、経営改善が進められています。長期的な見地から、次期の改革プランを作成してください。



◀秘境象ヶ沢



◀担い手のために



◀持続可能な経営を

町政を問う

8人の議員が質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。



- ◆ 神崎 安弘 議員 11
(1) まちづくりにひと言
- ◆ 佐藤 新一郎 議員 12
(1) 街路灯・防犯灯で安全確保
- ◆ 高橋 義則 議員 13
(1) 今後の農業政策
(2) 高校生に通学補助を
- ◆ 大沼 大名 議員 14
(1) 産業・観光振興
(2) 町政運営の基本方針
- ◆ 眞幡 善次 議員 15
(1) 道の駅構想
(2) 高齢者に安心を
- ◆ 的場 要 議員 16
(1) 正しい日本地図を
(2) 所信表明
- ◆ 佐藤 達也 議員 17
(1) 災害時の初動体制と対応は
(2) 道の駅具現化に向け
- ◆ 遠藤 美津子 議員 18
(1) 高齢者の事故防止対策
(2) 投票率の向上施策

問 「声なき声」を察知すべき

答 アンケート調査を活用する

問 少子化対策の一端として、国・県・町は子育て世代へ負担軽減策を講じています。町内の幼児・児童・生徒数の減少に伴いPTA会員数も減少して、奉仕活動の負担は増えていると思います。次の点について伺います。

答 町長

基本的には学校の業務員が業務の中で行っていますが、各学校で毎年数回にわたり実施しています。保護者数が少ない学校では、親子奉仕作業など工夫しています。

問 除草作業などの負担軽減策は考えていますか。

答 町長

各学校や園と協議し、より効率的・効果的に進めるため時間、日数短縮など保護者と相談したいと思っています。また、「シルバー人材センター」などの活用も考えたいと思います。

問 作業を委託すれば財政負担となります。地域に協力を求めていますか。

答 町長

学校と密接な地域の方々の理解と協力は不可欠です。川二小では地区住民と一緒に実施しています。連携が地域づくりの一つの方策と考えます。まちづくり懇談会を通して町民へ働きかけをしていきたいと思っています。

問 町民の声を聴いてまちづくりを進めています。意見・要望は無限と言っていますが「声なき声」を察することが重要です。今後のまちづくり、地域づくりの一助となる対策を講じるべきと考えますが。

答 町長

まちづくりは、さまざまな機関や各種団体の協力があって進められますものだと認識しています。懇談会へ出席される方だけでなくアンケート調査などを行い、その結果を検証してまちづくりに生かしていきたいと思っています。



神崎 安弘 議員



▲広い敷地の学校も



▲まちづくり懇談会



佐藤 新一郎 議員

問 街路灯・防犯灯で安全確保を

答 提案しながら要望を継続

国道457号の朴ノ木・本砂金間、県道の秋保温泉・川崎間のダム堤体から仙台市境までの2路線は、急勾配と見通しの悪いカーブが続いています。また、町民の主要な道路ですが、街路灯や防犯灯が設置されていません。

問 事故や犯罪を未然に防ぐため、何より住民の安全と安心して通勤できる環境づくりも町が対応すべき大切な役割の一つと考えています。この現状をどのように認識していますか。また、対応策は。

答 町長 国道457号、県道秋保温泉川崎線は、通勤通学や観光、生活道路、迂回路としてなくてはならない道路と認識しています。街路灯

は県土木事務所に要望し、防犯灯は行政区長に相談します。

問 町政の重要課題の一つに、町民の安全安心なまちづくりを掲げています。仙台市境から当町へ入ると、なぜ街路灯や防犯灯が少ないのでしょうか。

答 町長 町民の安全確保から、改めて関係機関に働きかけをしていきたいと思っています。



▲夜になれば…

問 この区間には電柱などがなく、改めて敷設すれば多額の経費が見込まれます。経費削減の点からソーラー式街路灯の設置も考えられますが。

答 町長 対策を講じることにより財政負担が求められます。さまざまな提案をしながら、繰り返し要望を続けます。

問 これは住民の叫びです。夜中に帰ってくる人、午前1時・2時に出勤する人など仕事や生活のために利用しています。犯罪や事故が起きてからでは遅いので、早急に対策を講じるべきではないでしょうか。

答 町長 議会の皆さまの声をしっかりと受け止めて要望を続けます。



▲思っている以上に狭い県道

問

町が公社を立ち上げるべき

答

設立も含めて検討する

農業者は高齢化になり、今後、離農者が増えると思われます。基幹産業の農業の衰退とともに若い後継者が減少しています。地域の農地は耕作放棄地が増え始めています。次の点について伺います。

問 各地区の担い手が今の面積より増やすのは難しいと思われます。離農した場合、受け手となる人材をどう確保していきますか。

答 町長 耕作面積を増加することが難しい農家もあります。受け手となる農家を確保するには、ほ場整備が必須条件ですので、事業実施が可能なか検討します。

問 町が主体となり公社を立ち上げ農地の受け手となり、若者の雇用を行い運営するしかないと思われまふ。どのように考えているのか伺います。

答 町長 来年度は「人・農地プラン」の見直しを予定しています。今後アンケート調査や農業委員、県及び町職員と地域との話し合いで、5年後の姿が見えてきます。結果を参考に農業政策や方針は、公社設立も含め検討します。

問

高校生に通学補助を

答

今のところ考えていません



▲町外に通学に利用

問 子どもの能力を伸ばすためにも、希望する高校に進学するのがいいと思っています。親の交通費負担を軽減するためにも通学補助をすべきと考えますが。

答 町長 さまざまな子育て支援を行っており、限られた財源の中でどのような施策があるのか常に考えています。高校の通学補助は今のところ考えていません。

問 山形県のある町では、子どもが高校進学時に家族で町外へ引っ越すことがあるようです。通学に時間とお金がかかるので、大きな決断を迫られる場合もありますが見解は。

答 町長 地元の高校もあり、8割の子どもに通学補助を出すことはなかなか難しいです。



大沼 大名 議員

問 町政運営の基本方針は

答 質の向上を目指す

やっていくことが大切です。

問 具体的にどのような方法で、むり・むだ・むらを省いていくのですか。

答 町長

やりたいことはたくさんあります。町民にとって必要なモノなのか、何を削るべきかを一つ一つ検討しながら

問 民間では生産性向上などを目指していくということになります。しかし、行政サービスの向上を図るためには、今後どのようなことが必要だと考えますか。

答 町長

職員教育や意見交換を通じて力量を高め、やる気のある職員を増やしていくことが、質の向上となります。資源は人です。鍛え育て共に勉強していくことが、町民に良いサービスが提供できることにつながると 생각합니다。



▲研修でスキルアップを

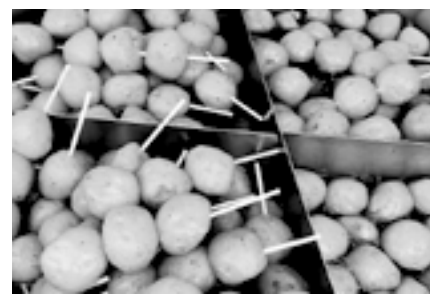
問 道の駅で産業や観光振興を

答 意見を聞きながら一歩ずつ

問 道の駅開業を計画していますが、今後どのような産業や観光振興を目指していくのか伺います。

答 町長

あらゆる産業の核となるよう費用対効果をしつかり判断し、開業を目指していきます。



▲玉こんにゃく続く名物を

問 今後、物産と観光が一体となった振興策や仕組みが必要だと考えますが。

答 町長

しっかりと意見を伺って、一歩ずつ進めていきたいと思っています。

問 開業を目指す上での方え方や施設の役割について、その概要を伺います。

答 町長

町民が利益を享受できるような施設にするため、多くの意見を聞き進めていかなければなりません。また、町内外にアピールし川崎町を体感してもらい、町内に人を呼び込む玄関口となる役割を目指しています。

問 目指す道の駅は

答 町民の声を参考に

今回「道の駅構想」に取り組む強い決意が感じられました。地場産業の振興と就労の場を確保し、町の活性化につなげてもらいたいです。しかし、全国でも自立して運営できているところは非常に少ないです。



▲道の駅建設予定地(あだこだ周辺)

問 建設には数億から数十億掛かると言われています。ありきたりの道の駅ではだめです。負の遺産を後世に残すことになってはいけません。どのようなものを計画しているのか伺います。

答 町長

事業は多くの関係者や機関との関わり、多額の資金が必要になるなど大きな事業となります。「夢のある施設」を開設するため、町民の皆さまをはじめ多くの方々の意見を参考にしていきたいと思っています。

問 道の駅は通年営業するわけですから、地場産品の開発を今まで以上にしていかなければいけません。町の協力体制は必要不可欠だと思えますが、町長の考えは。

答 町長

今年度中に事業構想を立て成功に導くため、さまざまな方から協力をいただけるようにしていきたいです。

問 みちのく公園に隣接する「あだこだ」に立地すると聞いています。町民からは農協の特産センター周辺がよいのではないかと、声がよく聞かれます。町長の考えは。

答 町長

用地確保には相当な予算が必要となります。みちのく公園よりアドバイスのあった「あだこだ」の土地を活用させていたいただきたいと思っています。

問 高齢者が健康で安心な町

答 事業拡充に努める



▲スポーツで健康増進を

問 高齢者の健康づくりの増進や健康寿命を伸ばすためにも、日々の健康管理が必要ですが、町長の考えを伺います。

答 町長

「身も心も健やかに、笑顔で暮らせる長寿のまち」を理念に、高齢者が積極的に地域活動へ参加し、健康で生きがいのある生活ができる社会を目指します。また、高齢者の健康づくりにつながる事業の拡充に努めます。



眞幡 善次 議員



的場 要 議員

問 目的をしっかりと示すこと

答 経常経費を抑えながら

問 広報活動の強化については、各世代に向けてさまざまなコンテンツを使って発信することが必要です。そのためには広報紙とSNSの連動が欠かせないものと考えますが。

答 町長

私も同様に考えています。SNSから町のホームページにジャンプするようにしたり、広報紙の特集ページなどをSNSにアップしたり、事業に精通した方からの助言もいただきながら「川崎町」を発信していきます。



▲ネットでも見れるように

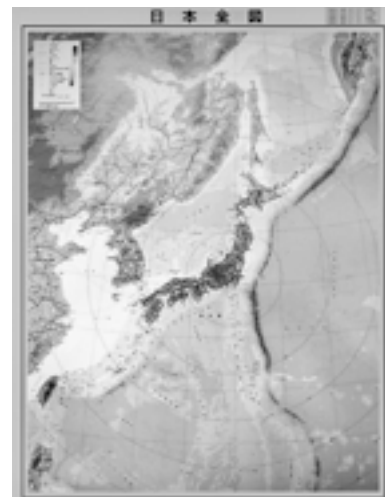
答 町長

早速、課長・補佐とともに、経常的経費を抑えながら来年度に向けてしっかりとした予算組みが組めるように努力していきます。

問 依存財源割合が高い当町ですが、今後人口減少で地方交付税の減少も懸念されているところです。その厳しい状況の中で、財政安定化を図る第一歩が「むり・むだ・むら」をなくすこと、とありますが具体的に。

答 町長

平成30年度決算では前年度と比較して、地方交付税総額では700万円余りの減少となりました。地方税の収納率向上など、ほかの自主財源の確保にも努めながら、限りある財源で町政運営を行っていくということです。



▲領土・領海の学びに

問 正しい日本地図の更新を

各学校に再度配布

問 平成27年度以降に活用いただいた「正しい日本地図」ですが、破れたものをテープで補修しながらも掲示している学校や、全く掲示されていない学校もありました。現在の状況を確認し更新する必要があると考えますが。

答 教育長職務代理者

提言から5年が経過し、老朽化で既に廃棄処分されている教室もありました。児童生徒に正しい地理・歴史を認識させるためにも、各学校に再度配付し、学習に活かしていきまよう取り組んでいきます。

問 災害初動体制は万全か

答 職員不足懸念

問 台風15号は、千葉県をはじめ多くの被害をもたらしました。災害があつてから思うことは、備えと初動の対応の大切さです。住民の防災に対する備えと行政の短時間での情報収集が、二次被害を防ぐ手立てだと思えます。

問 体制として情報収集のマニュアルはどのようなになっているか。

答 町長

防災計画で災害の種別、程度により職員参加基準を4段階に定めています。各課長を通じてSNSを利用し周知等を行い、地域を定めた調査班を編成しています。

また、消防団や自主防災組織からの状況連絡も想定しています。

問 災害時に対応する自治体職員が不足している事態があります。現状を伺います。

答 町長

避難所の運営や罹災調査まで必要な場合は、職員が不足します。

問 国の財政制度等審議会で、公務員の人数は人口減を反映して抑制する改革案が示されました。AI導入での事務効率化を図るとしています。このことについて、地方自治体として対応が必要では。

答 町長

町村会での話がありました。災害時には不足している現状ですので、減らさないよう要望を続けていきます。



▲いつ起こるかに備えを

問 インフラ更新も視野に

答 調整を図っていく



▲ライフラインなどとのバランスも

問 道の駅事業は、本年度構想策定業務に180万円、視察に20万円の計200万円が計上されています。具現化にむけ、青写真を示すべきでは。

答 町長

本格的な作業を迎える基本構想の策定のなかで示したいと考えています。可能な限り民間のアイデアや資金を活用できればと考えています。

問 事業費は多額と推測されますので、老朽化したインフラの更新事業額とのバランス調整を考慮すべきと考えます。見解は。

答 町長

指摘のとおりと認識しています。早期に事業費を積算し、老朽化したインフラ更新費用との調整を図っていきます。



佐藤 達也 議員



遠藤 美津子 議員

後付け装置の設置に補助を

検討していく

問 高齢者の交通事故が増加傾向にあります。65歳以上の自動車運転免許保有数について伺います。

答 町 長

平成30年12月31日時点における65歳以上の人口3141人、自動車運転免許保有数1861人で保有率は59%、約6割となっています。

問 自主返納者の現状について伺います。

答 町 長

昨年中に返納した高齢者は17人で、保有者数に対して非常に少数にとどまっています。

問 高齢者による交通事故の現状について伺います。

答 町 長

事故については、ほぼ横ばいとなっています。

問 車の運転が必要な高齢者に、後付けで設置できる安全運転支援装置費用を補助する考えは。

答 町 長

各メーカーが既に販売した車の対策として「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の商品化を計画しています。推移を注視していきます。

立会人の公募制を

若年層を対象に検討

問 選挙をより身近に感じる環境づくりや弾力的な運用も検討する必要がありますか。

答 選挙管理委員長

小中学生を対象に、選挙の啓発ポスター、コンクールや啓発標語の作品募集を毎年実施しています。新成人向けパンフレットの配布や、生徒会選挙などの際には投票箱の貸し出しなどを行っています。

問 移動車による期日前投票の実施を検討してはいかがですか。

答 選挙管理委員長

投票所の統廃合を行う必要が出てくれば検討したいと思っています。

問 立会人の公募制を検討してはいかがですか。

答 選挙管理委員長

若年層を対象として、募集の方法や応募資格等も含めて検討していきます。



▲未来は投じることから

免税軽油制度の継続を求める意見書

免税軽油制度の継続を求める意見書提出に関する陳情書が提出されました。

総務民生常任委員会に付託

審議 採択すべき

議案を議長に提出
意見書提出を可決

「免税軽油制度の継続」を求める意見書

(一部抜粋)

免税軽油制度が、令和3年3月末で廃止される状況にあります。

この制度がなくなれば索道事業者は大きな負担増を強いられ、スキー場の経営維持が困難となるとともに、地域経済にも計り知れない悪影響を与えることとなります。

よって、冬季観光産業の重要な柱であるスキー場産業の経営維持を図り、地元雇用者と地域経済の安定およびウィンタースポーツの発展のために、免税軽油制度の継続を強く求めるものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

提出先	令和元年10月
内閣総理大臣 殿	衆議院議長 殿
総務大臣 殿	参議院議長 殿
国土交通大臣 殿	
	宮城県川崎町議会

9月会議

旧姓記載可能に

印鑑登録及び証明に関する条例改正

■提案理由

住民票やマイナンバーカードなどへの旧氏(旧姓)の併記を可能とする制度が開始されることから、印鑑登録証明書においても同様に改正を行うものです。

印 鑑 登 録 証 明 書			
印 鑑	氏 名	印 鑑	姓 別
	田中 太郎	昭和55年 5月 5日	男
生 年 月 日	住 所	東京都品川区大井町4-2-3 302号 電話マンション1234号室	
本票は、印鑑登録原票の写しに相当しないことを証明する			
令和元年 5月10日			
電算市長	電算 正太郎		

▲氏名の下に旧氏記載が

注：併記をする場合は、別に手続きが必要となります。
問い合わせ窓口は町民生活課となります。

人事案件

任命に同意

教育長



あい はら とし ひ こ
相原 稔彦 さん
(大河原町)

任期 令和元年10月10日から
令和4年10月9日までの
3年間。

教育委員



た から だ ま さ し
宝田 正志 さん
(支倉上)

任期 令和元年11月1日から
令和5年10月31日までの
4年間。

総務民生常任委員会 報告

調査日 8月5日

調査事項① 空き家バンクの現状

【調査結果概要】

令和元年7月末現在の登録件数は延べ70件で44件の契約が成立、90人の方が移住している状況です。平成28年度に調査した空き家と

移住しやすい環境づくりを

思われる家屋数は約270件です。納税通知書へのチラシの封入や空き家活用移住者支援補助など、さまざまな対策を進めています。新たな取り組みとして「地域おこし協力隊

による物件登録支援」を実施しているほか、町内不動産情報を一元化する「空き家バンク等ポータルサイトの開設」や「お試し移住施設の開設」を予定しています。



▲移住者のニーズに合わせ

空き家バンクの登録件数は、空き家とされる件数の約26%となっています。空き家バンクの利用登録者数や登録物件数の増加により契約件数も増加している状況ですが、契約に至らなかった原因などを分析し対応策を

【委員会意見】

講じてください。移住者が定住しやすい環境づくりも重要となっていますので、現在進めている施策を継続するとともに、空き家対策と定住化へ向けた関連事業の充実を図ってください。

防犯対策の取り組み

教育と地域力の向上を

【調査結果概要】

過去2年半の犯罪認知件数は年間平均で31件、約7割が空き巣や車上荒らしなどの窃盗犯となっています。また、架空請求被害などの特殊詐欺も年平均3

件の報告があります。被害の防止策として、

防犯教室や警察署と連携した振り込み詐欺防止キャンペーンの啓発活動、年間220日を

超える夜間防犯パトロールなどを実施しています。さらに防犯灯

の整備や地域防犯連絡員の設置などで犯罪が起きにくい生活環境の整備にも力を入れています。



▲日ごろからの声掛けて

地域力の低下は犯罪件数の増加につながると思います。特に犯罪を抑制するには、年齢や発達段階に応じた効果的な安全教育を推進し、町民一人ひとりの防犯意識を高める必要があります。人形劇による幼児への防犯教育など、これま

【委員会意見】

での対策を継続してください。また、子どもや高齢者などの弱者には日常生活から声掛けや目配り・気配りが必要です。各関係団体間の連携・交流を図るとともに意見交換を通じて必要な対策を検討してください。

産業建設教育常任委員会 報告

調査日 8月7日

小・中学校空調設備の整備状況

室内環境を優先、高寿命化に

【調査結果概要】

近年の夏季期間での児童・生徒の健康管理と学習環境の改善とを図るため、昨年度補正予算1億3113万円余りで、町内の全小・

中学校にエアコンを整備しました。令和元年5月31日までの工期で小学校は38室、中学校には20室設置しています。

また、学習環境づくりと地球温暖化への配慮とのバランスを保ち適正かつ効率的な使用を各学校に運用するために、「川崎町立学校空調設備運用指針」を策定しました。



▲快適な教室で学習を

【委員会意見】

最高気温30℃を超える当日に一部の学校で現地視察を行い、設置箇所と台数の確認をしました。建物内では上階が高温になる傾向があるので、運用指針での稼働時間・設定温度などは、幅を持たせた表現とするなどの配慮

をしてください。また、エアコンの定期フィルター清掃を学校が行うことが記述されています。清掃・点検は、本体が天井・壁面の高所に設置されていることや高寿命とするためにも予算を確保し、専門業者に委託するようにしてください。

調査事項②

【調査結果概要】

平成29年10月11日に開設した処理施設の昨年度利用率は、クマ100%、イノシシ77%、サル67%でした。今年度は7月末日現在、各々100%、89%、

有害鳥獣処理施設の利用状況
防犯と事故防止に万全を

92%で利用率が伸びています。

また、昨年は環境省の「指定管理鳥獣捕獲事業」が11月と12月に実施され、イノシシ捕獲数は前年比1.8倍となっています。この事業は今年度も令和2



▲利便を図り維持管理も徹底

【委員会意見】

委員会では現地視察を実施しました。施設は臭いもなく十分に清掃されていて管理が適切であると思います。今後もこの状態を維持できるように利用者の利便を図りながら、処理時の目隠しや排水溝の金物を防錆に優れた材料とすることも配慮し

てください。処理に際し使用している道具は、防犯の観点ですぐ目につくところではない場所に置くことを考慮してください。また、処理時の事故防止には十分注意してください。

8月会議

8月23日、町から提案された工事請負契約案件1件、条例制定案件1件、条例改正案件5件、補正予算案件1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。ここでは、その一部を紹介いたします。



条例改正

負担軽減に！

財源は、今年度「こども子育て支援臨時交付金」が国から交付され、来年度以降は地方交付税で措置されます。

- こども園利用料と幼稚園授業料

無償化いよいよスタート



消費税率アップで 使用料等も変更

- 川崎病院使用料
- し尿汲み取り処理費用
- 水道料金及び工事負担金

工事請負契約



▲中原住宅敷地

契約金額 **6291万円**

■ 提案理由

地方自治法で契約及び財産の取得、または処分に関する条例に基づき議決を求めるものです。

工事名

令和元年度施行 町営中原住宅敷地造成工事
契約の方法

総合評価落札方式による請負

契約相手方

川崎町大字今宿字町尻6番地1
丹野土木株式会社 代表取締役 丹野武子

視 察 来 庁

全国各地から！

議会広報コンクールで全国2位を受賞後、全国の市町村から視察を希望する申し込みや問い合わせをいただいています。



▲切磋琢磨によりよい広報紙を

- | | |
|-------|-------------|
| 7/29 | 山形県金山町議会 様 |
| 8/21 | 茨城県城里町議会 様 |
| 9/20 | 山形県小国町議会 様 |
| 10/23 | 福島県北塩原村議会 様 |
| 10/30 | 茨城県鉾田市議会 様 |
| 11/ 6 | 長野県箕輪町議会 様 |
| 11/ 7 | 石川県かほく市議会 様 |
| 11/19 | 福島県三春町議会 様 |

かわさき想い人

町の空き家バンクと起業支援を活用し川内佐山に移住、夫婦で住居兼店舗に改装、「クリラコーヒーロースターズ」を開業。将来の夢は、国道457号を結ぶコーヒーロードをと語る栗谷将晴さんをご紹介します。



▲コーヒー談義も楽しいひととき

コーヒーが大好きで

Q 町に来る前は、どのようなことをしていたのですか。

A 土木コンサルタント会社に勤めていました。大のコーヒー好きだったので思い切って脱サラ、仙台市宮地下鉄「北四番丁駅」前で4年間コーヒーショップを営んでいました。

こだわりの一杯を

Q コーヒー好きのこだわりとは、どんなものですか。

A 世の中の流れは、苦いコーヒーからフルーティーで酸味のある時代になりました。各国のコーヒー農園を指定して仕入れ、自家焙煎で出しています。

誘いを受けて

Q 移住したと思った理由や、きっかけはなんですか。

A いつかは田舎に住みたいと思っていました。そんなときに、みちのく公園で古民家カフェを主催した際、いろんな人たちから「川崎においでよ。空き家バンクがあるよ。」と誘いを受けているうちに移住を本気で考えました。

みんな親切

Q 移り住んで感じたことは、どんなことですか。

A 近くの人たちは、とても親切で野菜を持って来てくれたりするので大変感謝しています。川崎は自然豊かであり、ところがたくさんあると思います。ただ、蔵王おろしと呼ばれる風が強いのはビックリしています。

相談できたら

Q 町や議会に対して何か意見はありますか。

A アイデアを具体化しようとすると、一人では実現できないことがたくさんあります。そんなとき、気軽に相談できる環境があれば移住してくる人も助かります。



▲栗谷将晴さん・愛さんご夫妻
昭和ロマンの店構え（川内1）

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は12月10日(火)
一般質問は12月11日(水)・12日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は8月会議0人、9月会議15人、ライブ中継は88アクセスでした。)

詳しくは、
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111
(内線1302)

私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



町の風景



だから
まちの自然「笹谷清流」

撮影 コラボレーター 佐々木和人さん

町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明

「なかよく! たのしく! おいしく!」

川崎小2学年親子行事「パフェづくり」

撮影 コラボレーター 佐々木和人さん



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷